

QSK
にぬふあぶし
No.286 ^ね子の方向の星(北極星)



映画「夜明け前のうた」上映について

2020年4月からの上映を目標に制作されていた映画「夜明け前のうた」は、世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響から上映が延期されていました。

沖縄の「私宅監置」を通して障がい者問題を世に問う内容です。監督、撮影、編集に奮闘していた原義和さんは、完成してからも、上映の時期や場所を決めるために様々な困難を乗り越えて来られました。

そしていよいよ、2021年3月27日から東京・K'sシネマ、4月3日から沖縄・桜坂劇場での上映が決まったとのこと。詳しいことは「制作・上映実行委員会」で話し合い、決まり次第お知らせいたします。

これから、宣伝や上映券の販売等で関係の皆様にお世話になります。

一人でも多くの皆様にご観覧いただけるようご協力をお願いいたします。

山田圭吾



K's cinema
@東京都新宿区新宿3丁目35-13 3F



桜坂劇場
@沖縄県那覇市牧志3丁目6-10

－反応しない練習－

10月末に調理師免許の試験を受けました。というのも来年度から全ての飲食関連の事業者に対し、一般的な衛生管理に加えて「HACCP」ハサップ」（危害分析重要管理点）の実施が義務づけられるからです。一言でいうと「衛生管理計画書」と「手順書」を作成して衛生管理の“見える化”を図るという事です。計画書は食品衛生責任者（調理師免許取得者）が作成しなければならないので私が調理師免許試験を受ける事になりました。

ユニティーのお昼ご飯は、大盛りでおかわり自由、時々朝食も食べられるので、利用者さんに好評で、それが理由でユニティーを利用している方もいるのでは？と分析しています。

さて、仕事をしながら試験勉強していくのは、想像以上に大変で何度も心が折れそう（ハンナギョウ！）と思いました。その度に「なんの為に！この資格をとるのか？」と自分に問いかけなんとか勉強を続けました。しかし、試験の前日に、「もう嫌だ！もうどうでもいいよ！何で今なの！」と怒りを乗り越えて諦め（チルダイ）する出来事がありました。その時に救いとなったのが、ブッダの教えを説いた「反応しない練習」という本です。なんとか心を整えて試験を受ける事ができました。

一説です「心というのは何かに触れば必ず反応するもの・・・期待するほど心は強くありません・・・外を歩けば、人を見れば反応し雑念が溜まります。とすれば、いっそのこと目を閉じて心の内側だけを見つめると自分が取り組まなければいけない本当の作業に向かえます・・・」。

日々雑念が入ってくる中、おすすめの一冊です。



ワークプラザユニティー 宮城利恵子

★職員募集★ ヘルパーステーションてるしの

所在地 那覇市三原 2-15-13 ひかりビル 1F

雇用形態 フルタイム、パートタイム、登録ヘルパーなど相談に応じる
(詳しくはご相談ください)

採用要件 介護職員初任者研修以上 要普通運転免許（AT可）

仕事内容 障がい福祉および介護保険における、利用者居宅の訪問によるサービスの提供。

ホームヘルパー※居宅介護、同行援護、重度訪問介護など）

労働条件等 雇用形態ごと、就業規則による

問合せ・申し込み 電話 098-927-6345（玉城）



今夜、珈琲を淹れて

コロナ禍で、それまでとはずいぶん生活が変わりました。休みの日にも家にひきこもる時間が増えて、ぼんやりすることにも飽きてくると、ふだんにも増して活字中毒が本領をのぞかせはじめます。

ユヴァル・ノア・ハラリの『サピエンス全史』は、何年か前に国内でも話題になった人類史の本ですが、上下巻のボリュームに気後れして手に取りづらかったもののひとつでした。

この本では、人類の歴史における3つの革命を軸として、およそ20万年からなるホモ・サピエンスの歩みを説明しています。

当初、ヒト属のなかでも、体格や脳の大きさなど他に秀でるところのなかった我々の祖先ですが、“火の発見”=加熱調理の技術と、それにともなう“認知革命”が飛躍の原動力となりました。

認知革命とはなにかというと、虚構の発明です。さらに端的に言えば、神様を信じることができるようになったことです。加熱調理技術の獲得がなぜ神様につながるのかはここでは割愛しますが、狩猟採集民族としての人類は、神様のサポートを得ながら世界各地へとテリトリーを広げていくのでした。

しかし、順風満帆だった我々の祖先を待っていたのは“人類史における最大の罠”です。それが“農業革命”でした。

旅の途中、たまたま小麦やイモといった有用な食物を見つけた人類は、しばらくは他に移動する必要がないため一時的な野営を繰り返すようになります。作物の世話をするうち、ますます土地は肥沃に広がって、ひとつところに定住する農耕民が現れます。

人類は、農業を覚えることで初めて“将来の見通し”を立てることができるようになりました。

と同時に、これまた生まれて初めて、“将来の不安”に脅かされることになったのです。

育てている作物が来年もまた同じように実を結ぶかどうか—そんな心配が人々をむしばむようになり、また以前とは比較にならないほど長い時間を畑仕事という労働に費やすようになりました。長時間労働と将来の不安は、農業とともに我々のもとにやってきたのです。そのうえ、人はいつしか楽しかった狩猟の技術を失い、食事もずいぶん単調なものに変わりました。本のなかで“最大の罠”とか“詐欺”とか呼ばれるゆえんです。

コロナによる緊急事態宣言のおり、一時的な在宅ワークを経験しました。のんびりゆったりとしながら、適度に集中して仕事もできる、実に快適な時間を過ごすことができました。なのにふだんはなぜ、来る日も来る日も定時に出勤して、決められた時間をあくせく過ごさねばならないのか……。ふと理不尽な思いにかられます。日進月歩に文明の利器は発達しても、はたして豊かさや幸福の向上に寄与していると思えないのはなぜでしょう。

人類史という広大な見晴らしから眺めてみれば、現代のこの社会は少なからず滑稽に映るかも知れません。

物思いにふけるにもちょうどいい一作、秋も過ぎゆく夜長にいかがでしょうか。

(てるしの・増山)



地域活動支援センターおきなわ × 沖縄市精神療養者家族会おあしすコール

【グラウンドゴルフ交流会】

コロナ禍の中、なかなか集まっていたイベントを実施する機会が減っている今日この頃・・・
沖縄市の地域活動支援センターおきなわと精神療養者家族会おあしすコールでは、三密を避け、マスクなどの対策をしながら、グラウンドゴルフ交流会を行いました。



2グループに分けて、チーム戦&個人戦を行いました。
初めてグラウンドゴルフをする方もいたので、普段、地域の自治会のグラウンドゴルフにも参加しているベテランさんから、ルールやコツを教えてもらいながら、和気あいあいとコースを回りました。開放感のある公園で、天気も良くて、気候も良くて！！マスクをしながらですが、大きく深呼吸できる心地いい
天気に恵まれてサイコー！次回も楽しみですねっ♪



開放感、
抜群♪



◎編集後記◎
イベントごとがないから季節感もなかなか感じる機会が少ない??
私的あるある、夏の終わりは全島エイサー...でも今年は、なかなかイベントの開催は無く、締まりのない感じ。来年は、たくさんのお太鼓の音や、声が聞こえる世の中になってほしいな～。(Na)

編集：公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会
会長 山田 圭吾
〒901-1104 沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1
てるしのワークセンター内
電話：098-889-4011 FAX：098-888-5655
E-mail：terushino@castle.ocn.ne.jp
発行：九州障害者定期刊行物協会
〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出 2-2-18
電話：092-753-9722 FAX：092-753-9723
定価：10円 (会費に含まれる)